



マークライnz株式会社

決算補足説明資料

2026年上半期

2026年8月6日

Copyright © 2026 MarkLines Co., Ltd. All Rights Reserved

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。これらの記述または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり、または将来実現しないという可能性があります。

また、本書に記載されている当社グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について保証するものではありません。

マークライnz株式会社

- I. 2026年上半期のトピックス**
- II. 業績サマリー**
- III. 業績予想**
- IV. 2026年2月発表の成長戦略に対する取り組み状況**
- V. 中期の重要経営指標**
- VI. 参考情報**

I. 2026年上半期のトピックス

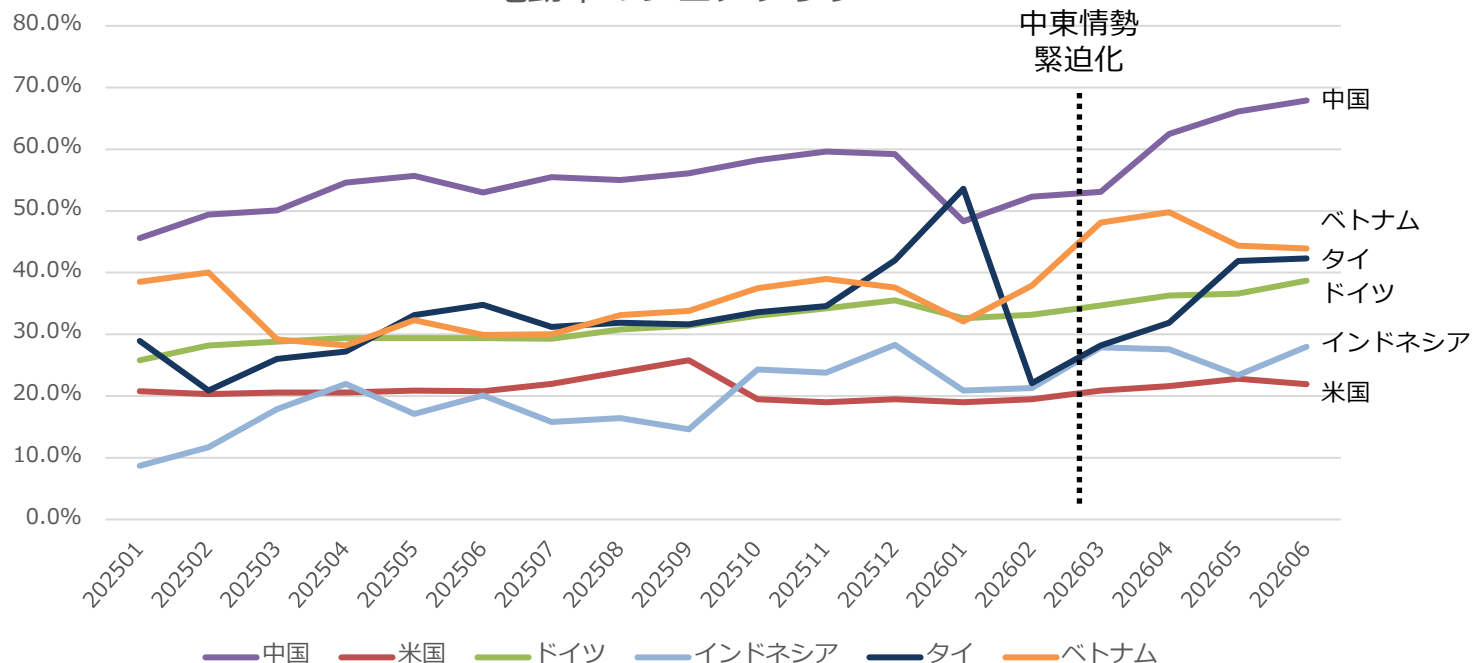
2026年上半期のトピックス

1. 事業環境について

① 電動車の世界販売台数動向

2026年3月の中東情勢の緊迫化に伴う燃料価格の高騰やEU諸国におけるEV補助金の再開の影響もあり、EVについては特に中国のみならず欧州・南米・東南アジアで販売台数を伸ばしてる。また、米国では消費者の燃料費抑制や普及価格帯への需要回帰により日系メーカーが強みを持つHEVの販売台数が上向いている。

電動車のシェアグラフ

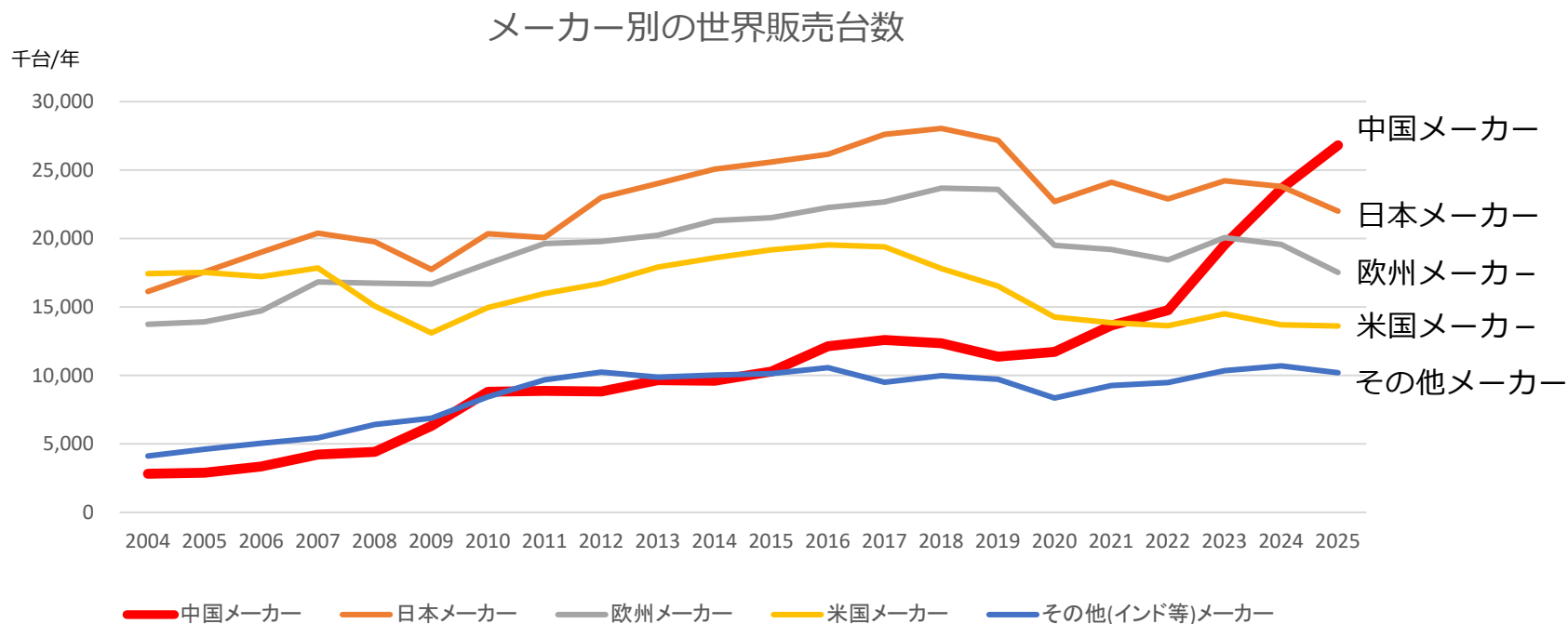


電動車 = EV+HEV+PHEV

2026年上半期のトピックス

② 中国メーカーの躍進

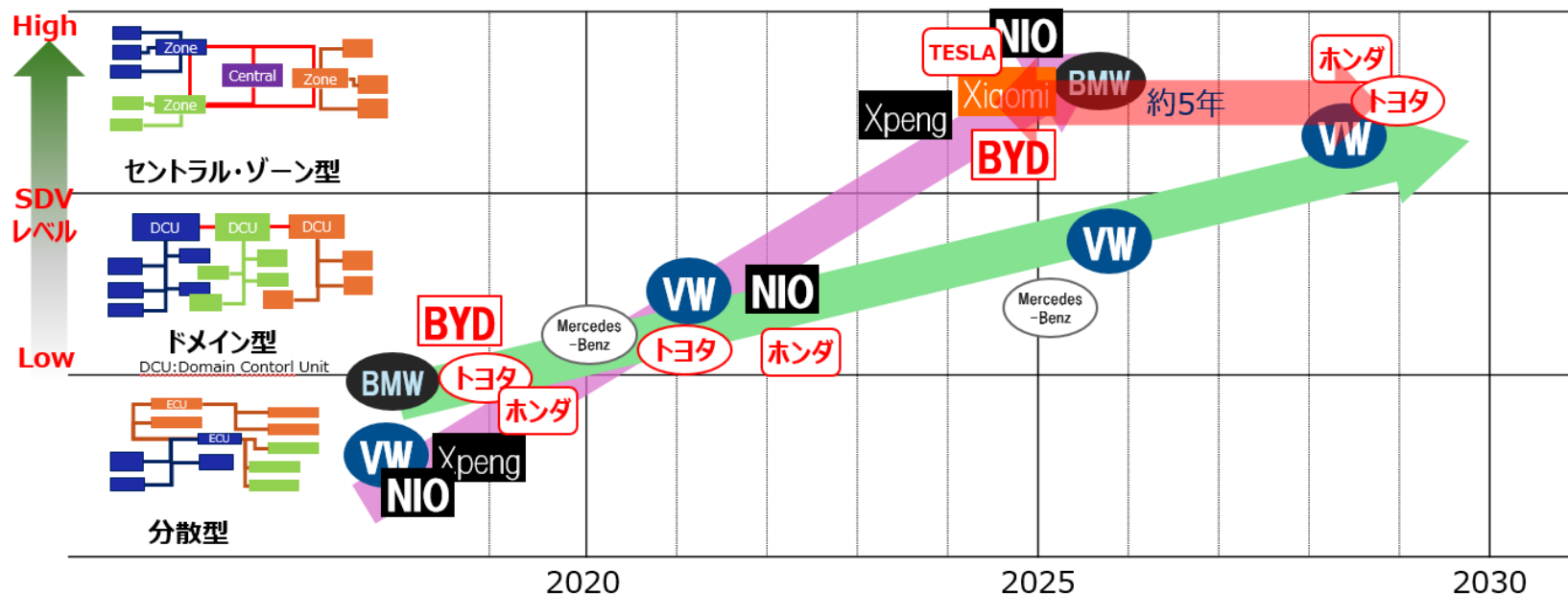
中国の自動車メーカーが引き続き国内外で販売を拡大させ、世界販売台数で首位に躍り出る一方、日本及び欧州メーカーはこの数年間、販売台数で低下傾向が続いている。直近数年間で中国企業が存在感を急速に高めている。



2026年上半期のトピックス

③ SDV (Software-Defined Vehicle) の進展状況

中国における自動車の付加価値は、ハードウェアからソフトウェアへと移っており、開発の主導権はHuawei、Baiduといった高度なインテリジェンス技術群を抱えるソフトウェア企業へ流れつつある。中国市場及び将来のSDV市場においてこれらの企業の存在感が高まることが予想される。



2026年上半期のトピックス

2. 生成AI検索機能のβ版リリース及び性能向上

外部ベンダーの活用および社内リソースの集中投入により2026年1月に「マークライnz生成AI β版」として提供を開始した。
ユーザーフィードバックをもとに機能改善を継続的に進め、ユーザーニーズへの適合性を高めるとともに、回答速度の改善も図りサービスの付加価値向上に注力している。

MARKLINES 生成AI βバージョンをリリース!!!

マークライnzの 独自データと分析

EV 市場が今後どの地域で
成長すると予測されて
いる?

45/50 回

MARKLINES 生成AI β版

EV/FCV/PHV 販売動向データ

データ編

分析編

質問例

- ? クルマの軽量化、特にアルミ化に関する動向を教えてください。
- ? 米国で HEV が売れているらしいが、具体的にどんなクルマが何台売れている?
- ? ヘッドランプの最近の新技术をまとめて。

2026年上半期のトピックス

3. 情報プラットフォームのコンテンツ及び機能強化

- 「独自インタビュー」のコンテンツを2026年1月より新たに公開し、当社が直接主要企業のキーパーソンへのインタビュー取材を始めた。
- お客様が関心を持つ自動車メーカー/部品メーカーを選択し、そのニュースをメールで受け取ることができる「自動車産業ニュース」の配信を始めた。
- 自動車生産台数ダッシュボードに従来からあるメーカー別、モデル別、国別に加えて、「パワートレイン別」のダッシュボードを実装し、ユーザーエクスペリエンスの向上を図った。

ホーム > 独自インタビュー

独自インタビュー

マークラインズが、自動車関連企業のキーパーソンに直接インタビュー。プレスリリースや公開情報だけでは見えてこない、現場の視点や事業の背景、今後の方向性を掘り下げます。



東レ株式会社
東レ、次世代モビリティを素材で具体化 コンセプトモデル「TEEWAVE CS40」に見る提案力
2026年07月16日(木) 独自インタビュー
電動化の進展や車室空間に求められる価値の多様化を背景に、自動車業界では、車両そのものの価値が大きく変わりつつある。こうした変化の中で、素材メーカーはいかに新たな価値を創出し、次世代モビリティの実現に貢献していくのか。
2026年4月に創業100周年を迎えた東レ株式会社（東レ）は、モビリティ...



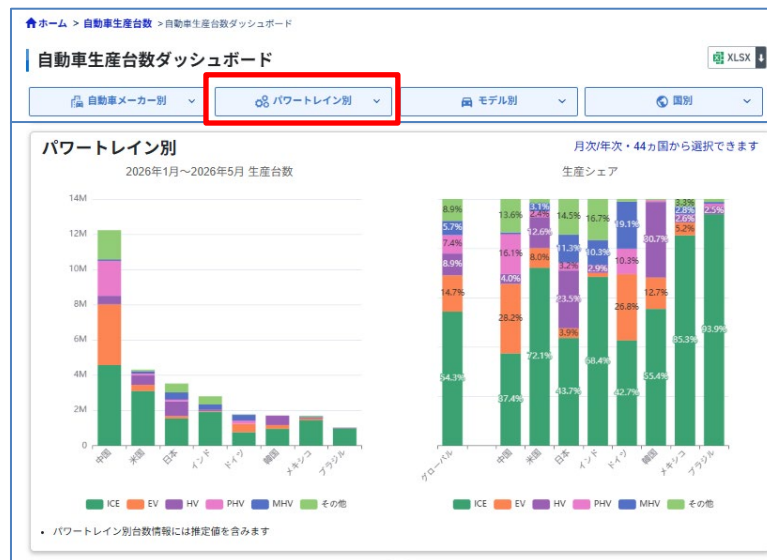
アイカ工業株式会社
AIKAWAカンパニー R&D統括部長 モビリティ部 部長 佐藤 正 氏
アイカ工業、「塗装は貼る時代へ」UV硬化型樹脂の一貫技術で挑む自動車の脱塗装
2026年07月16日(木) 独自インタビュー



NIRA Dynamics AB
最高執行責任者(COO) Hessel Thunborg氏
NIRA Dynamics、パワートレインが拓く可能性
2026年07月07日(火) 単独インタビュー



MAHLE
マーレ、材料転換や機能統合で製品競争力強化 地政学リスクにも対応
人とくるまのテクノロジー展2026 YOKOHAMA
2026年06月23日(火) 独自インタビュー



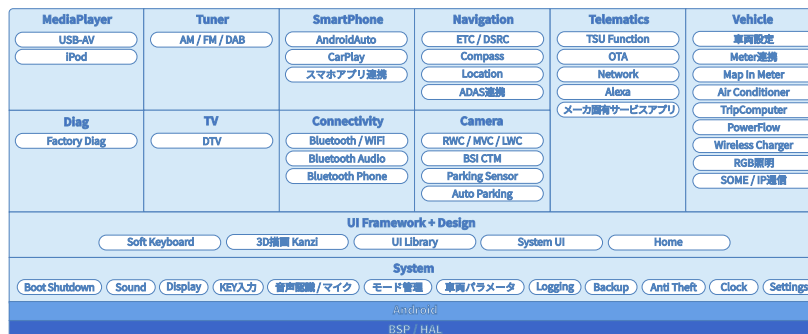
2026年上半期のトピックス

4. 自動車ファンド出資会社の初IPO

自動車産業支援ファンド2021投資事業有限責任組合を通して2025年2月に投資を実行した株式会社ミックウェア（兵庫県神戸市）が2026年5月14日付けでNASDAQ Global Marketへ新規上場した。今回の上場により同社は当ファンドが出資する初のIPO会社となった。

株式会社ミックウェア

車載プラットフォーム、ナビゲーション、位置情報サービスのソフトウェアの企画、開発、製作、販売を行っている兵庫県発の企業。ナビ関連では日本初の自動車向けTier1ソフトベンダーであり、IVI車載器のソフトウェア開発の全工程にワンストップで対応できることが特徴。日本国内カーナビソフトウェア市場でシェア15%を占める。



2026年上半期のトピックス

5. 子会社拡張・移転及び福岡コールセンター廃止

昨年12月の本社オフィス移転に続き、上海及びデトロイトオフィスについても組織体制の強化を目的として2026年1月、2月に移転した。
また、福岡コールセンターについては、事業の最適化を図るため2026年2月をもって廃止した。

新海外子会社オフィスの概要

名 称	麦柯莱依斯信息諮詢(上海)有限公司 (MarkLines (Shanghai) Co., Ltd.)	MarkLines North America Incorporated
所在地	〒200001 上海市 黄浦区 南京東路 300号 恒基名人大厦 1906室	39555 Orchard Hill Place, Suite 450, Novi, MI 48375 USA
外 観		

II. 業績サマリー

連結業績サマリー

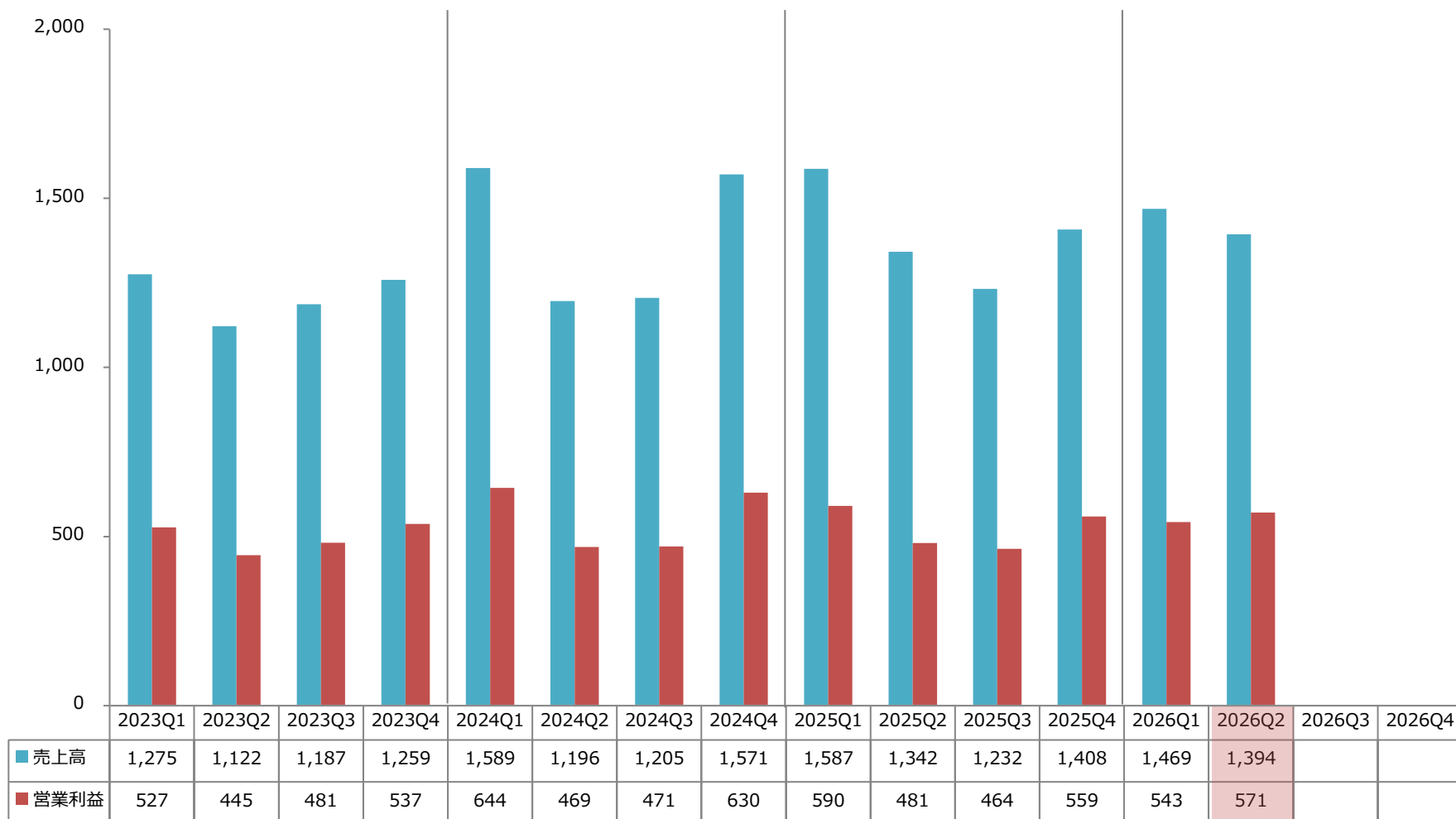
(単位：百万円)

	2025上期	2026上期	前年同期比(%)	要 因
連 結 売 上 高	2,929	2,863	$\triangle 2.2$	情報プラットフォーム事業は前年同期比8.4%増加。一方、リバースエンジニアリング事業等が前年同期比で減少したことにより全体では前年同期比2.2%の減少。
連 結 営 業 利 益	1,071	1,115	+4.0	情報プラットフォーム事業のセグメント利益増加に加え、リバースエンジニアリング事業のセグメント損益が改善した結果前年同期比4.0%の増加。
連 結 経 常 利 益	1,081	1,146	+6.0	営業利益が前年同期比4.0%増となったことにより、前年同期比6.0%の増加。
親会社株主に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	751	797	+6.1	経常利益が前年同期比6.0%増となった影響を受け、前年同期比6.1%増加。

連結業績サマリー

連結業績の推移

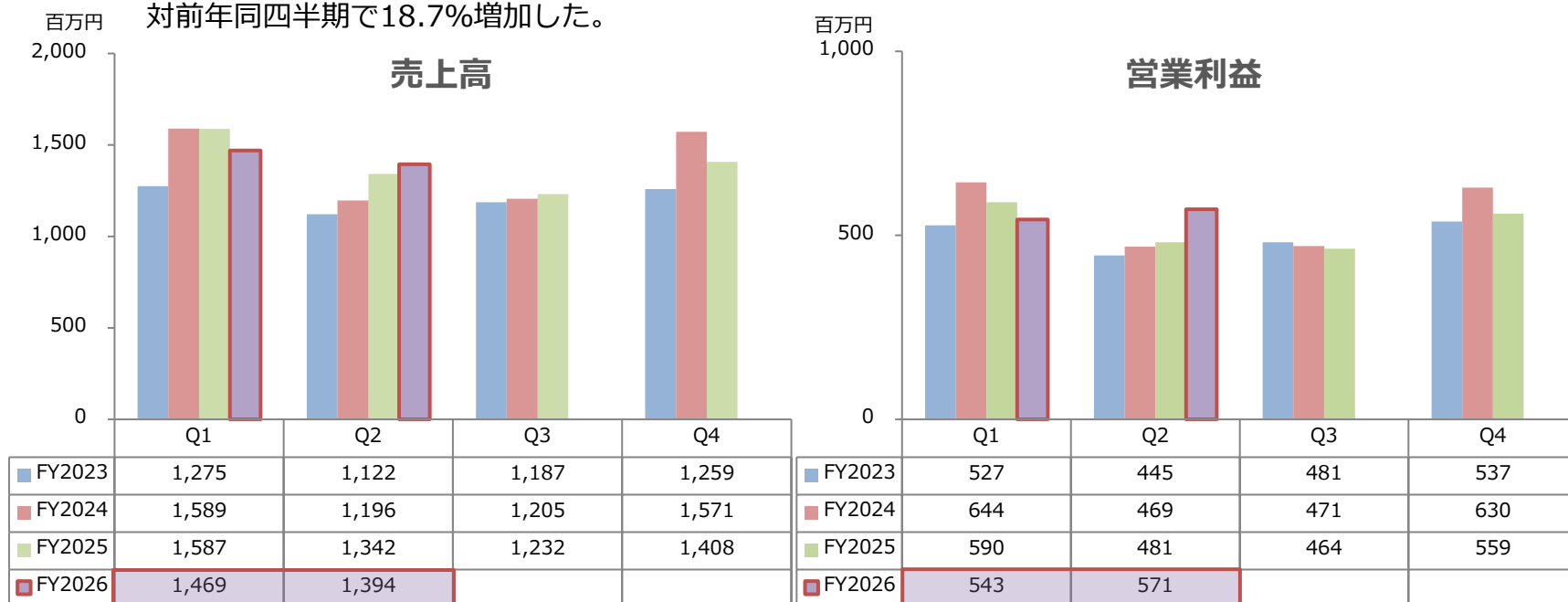
(単位:百万円)



連結業績サマリー

四半期毎の連結業績の比較

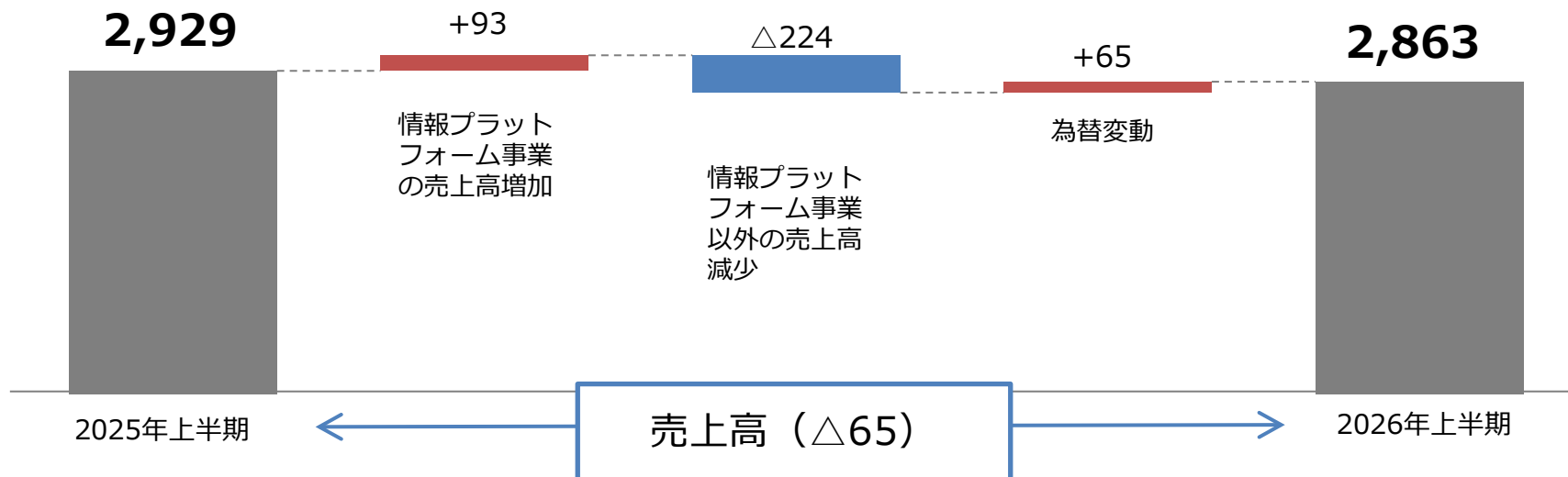
- 当第1四半期連結会計期間は、コンサルティング事業、及びリバースエンジニアリング事業において自動車/大手部品メーカーからの受注が減少し売上高が大幅に落ち込んだことなどの影響を受け連結全体の売上高は前年同四半期比7.4%減少となった。また、営業利益については、売上高の減少に加え本社、上海子会社、及びアメリカ子会社のオフィス拡張・移転に伴う一時費用を計上した影響を受け、前年同四半期との比較で7.9%の減少となった。
- 当第2四半期連結会計期間は、情報プラットフォーム事業において、売上高が価格改定及び人民元高による為替変動の効果により対前年同四半期比で2桁増となったことにより、連結全体でみた売上高が対前年同四半期で3.9%増加となった。さらに、リバースエンジニアリング事業において、ベンチマークセンターの稼働率が上昇したことによりセグメント損益が改善。これらの結果、連結全体の営業利益は対前年同四半期で18.7%増加した。



連結業績サマリー

(単位：百万円)

連結売上高増減要因 (前年同期比)



情報プラットフォーム事業以外の売上高増減の主な内訳

- 人材紹介事業の売上高は17百万円増加した。
- プロモーション広告事業の売上高は9百万円増加した。
- リバースエンジニアリング事業の売上高は185百万円減少した。
- コンサルティング事業の売上高は53百万円減少した。

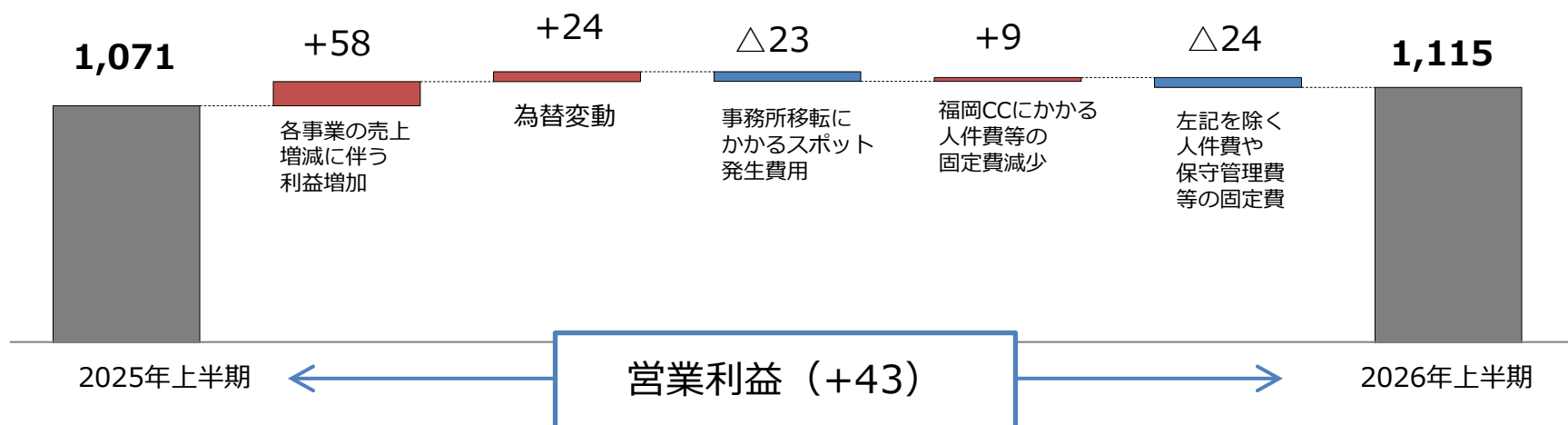
為替変動の内訳

- 主に人民元、ユーロの影響により外貨建の売上が65百万円増加した。

連結業績サマリー

(単位：百万円)

連結営業利益増減要因 (前年同期比)



- 日本、上海、北米オフィスの拡張・移転に伴う一時費用が合計でおよそ23百万円発生した。
- 2026年2月に福岡CC廃止に伴い、同拠点にかかる固定費は前年同期比で9百万減少した。
- 為替変動による増加の大半は情報プラットフォーム事業に係るものである。

対象	情報プラットフォーム事業の換算レート	2025H1	2026H1	換算方法
売上高	USD (各契約の換算レートの加重平均)	151.61	150.54	各契約の入金時のスポットレートで換算
	EUR (各契約の換算レートの加重平均)	163.15	172.45	各契約の入金時のスポットレートで換算
	CNY (期末スポットレート)	20.16	23.78	累計の人民元売上高を各四半期末のスポットレートで換算
費用	USD (期末スポットレート)	144.81	162.39	累計の米ドル費用を各四半期末のスポットレートで換算
	EUR (期末スポットレート)	169.66	185.35	累計のユーロ費用を各四半期末のスポットレートで換算
	CNY (期末スポットレート)	20.16	23.78	累計の人民元費用を各四半期末のスポットレートで換算

変化の先頭に

セグメント別損益

(単位：百万円)

事業部		2025年 上半期実績	2026年 上半期実績	前年同期比	
情報プラットフォーム事業	売上高	1,884	2,042	+158	+8.4%
	セグメント利益	905	996	+90	+10.0%
市場予測情報販売事業	売上高	187	181	△6	△3.3%
	セグメント利益	59	57	△1	△3.2%
プロモーション広告事業	売上高	68	77	+9	+13.5%
	セグメント利益	53	56	+2	+4.2%
コンサルティング事業	売上高	228	175	△53	△23.5%
	セグメント利益	61	26	△35	△57.1%
自動車ファンド事業	売上高	19	9	△10	△53.3%
	セグメント利益	8	△0	△9	－
人材紹介事業	売上高	49	67	+17	+34.8%
	セグメント利益	△11	△1	+10	－
リバースエンジニアリング事業	売上高	490	305	△185	△37.7%
	セグメント利益	△3	△15	△12	－
その他	売上高	－	4	+4	－
	セグメント利益	△3	△4	△1	－
連結売上高		2,929	2,863	△65	△2.2%
連結営業利益		1,071	1,115	+43	+4.0%

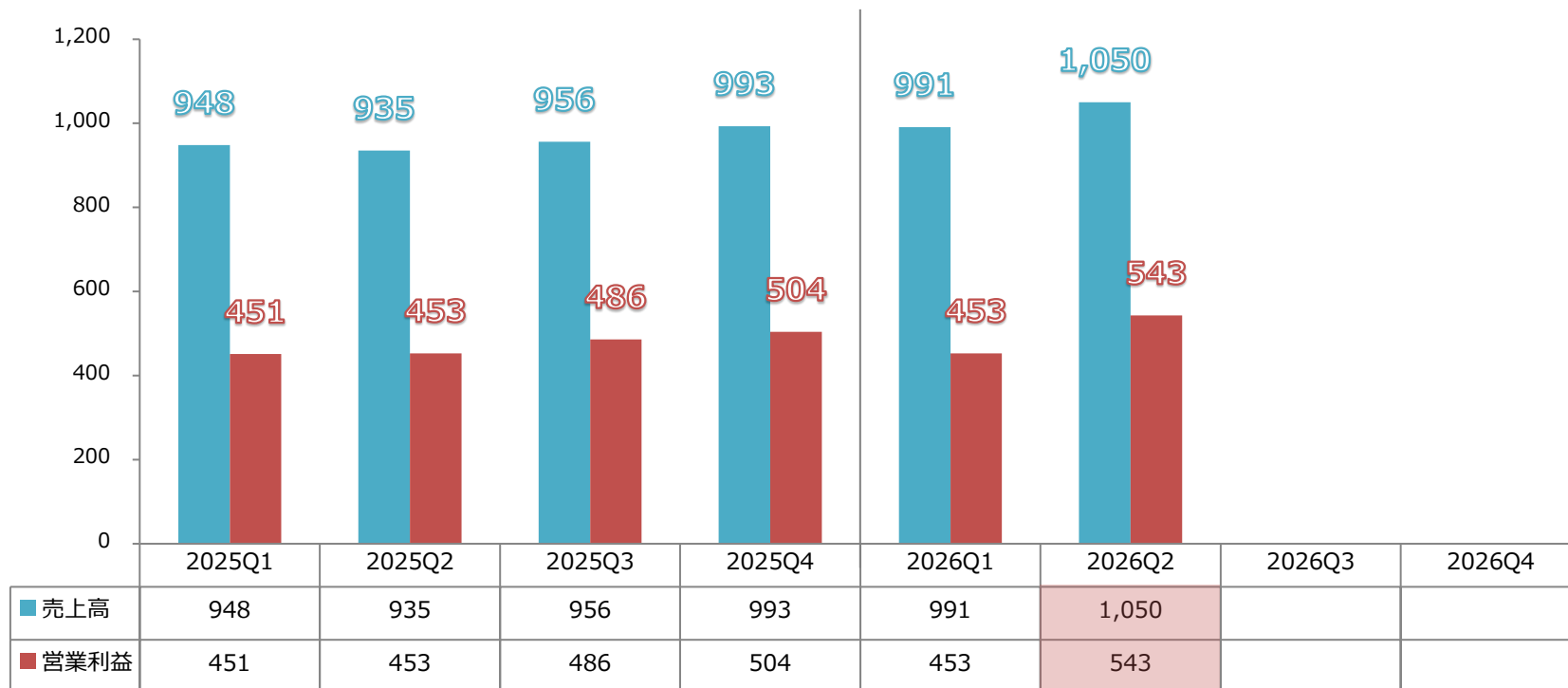
セグメント別損益（情報プラットフォーム事業）

① 情報プラットフォーム事業の業績概況

情報プラットフォーム事業は、契約数が日本を中心に減少した一方で、既存顧客の価格改定の効果が発現し、円建ての契約を中心に平均契約単価が上昇するとともに、円安の効果も手伝って売上高、セグメント利益ともに増加した。

(単位：百万円)

四半期毎の業績の推移



セグメント別損益（情報プラットフォーム事業）

② 地域別売上高

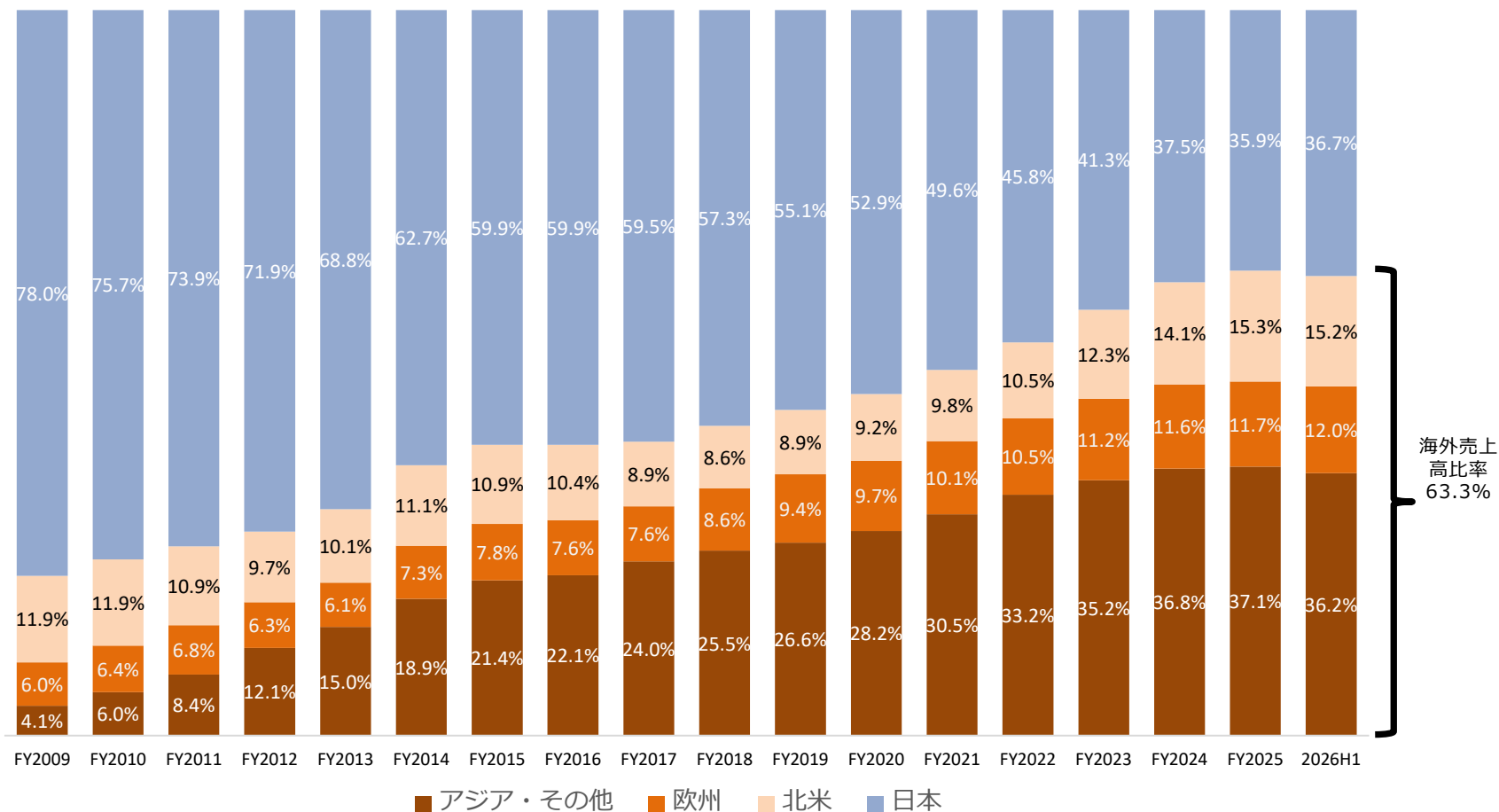
（単位：百万円）

情報プラットフォーム事業の地域別売上高				
	2025年 上半期	2026年 上半期	前年同期 比（%）	増減要因
日 本	688	749	+8.9	主に前期末より開始した既存契約の価格改定の効果により売上高が増加。
中 国	308	342	+11.1	人民元高に振れたことにより円建ての売上高が増加。
ア ジ ア	356	374	+5.2	主に前期末より開始した既存契約の価格改定の効果により売上高が増加。
北 米	289	309	+7.0	前期の契約数増加、及び既存契約の価格改定の効果により売上高が増加。
欧 州	225	245	+9.0	既存契約の価格改定、及び円安効果により売上高が増加。
そ の 他	16	20	+24.5	—
合 計	1,884	2,042	+8.4	—

セグメント別損益（情報プラットフォーム事業）

③ 地域別売上高の構成比

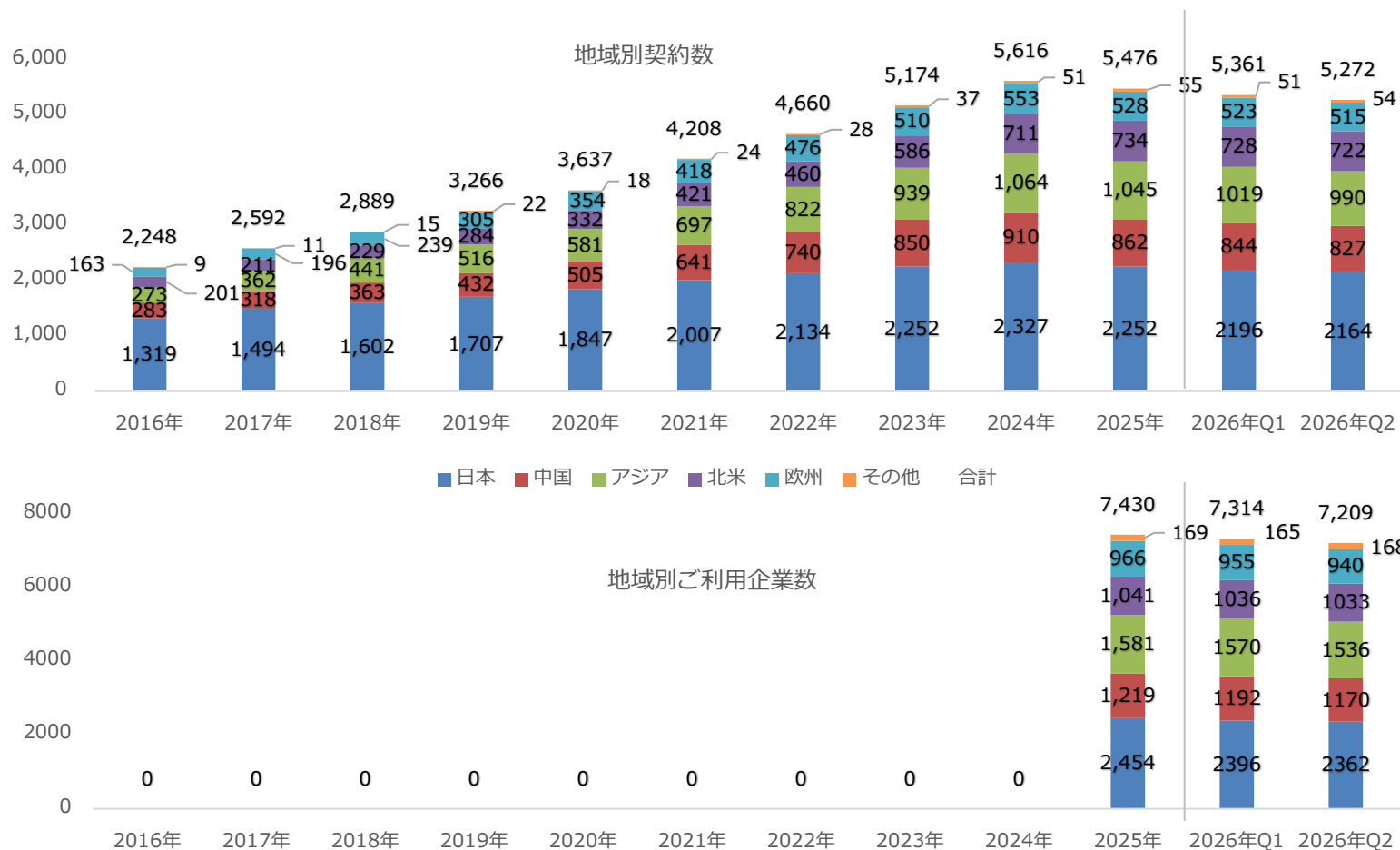
情報プラットフォーム事業地域別売上高の構成比



セグメント別損益（情報プラットフォーム事業）

④ 契約企業数及びご利用企業数

- 2025年以降世界全体で急速に外部環境が変化したことを受け不況耐性に乏しい中堅・小規模企業の解約が増加し、日本、中国、アジア、北米、欧州で契約数/ご利用企業数ともに減少した。



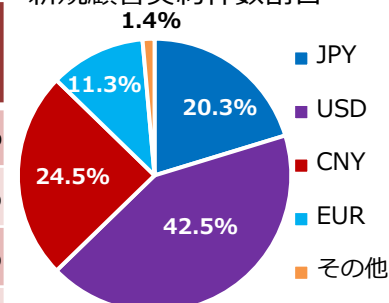
セグメント別損益（情報プラットフォーム事業）

⑤ 主要通貨別の平均契約単価（現地通貨建て）

【新規顧客の平均契約単価】

通貨	2025年 Q1	2025年 Q2	2025年 Q3	2025年 Q4	2025年 通期 (a)	2026年 Q1	2026年 Q2	2026年 上期(b)	変化率 (b) / (a)
JPY	686,341	623,810	707,167	675,750	676,636	587,400	693,957	644,395	△4.8%
USD	5,061	5,213	5,492	5,380	5,272	5,182	5,361	5,258	△0.3%
CNY	35,480	36,487	34,803	36,947	35,947	38,565	37,607	38,080	+5.9%
EUR	4,871	4,799	5,221	5,142	5,100	5,696	5,401	5,597	+9.7%

新規顧客契約件数割合

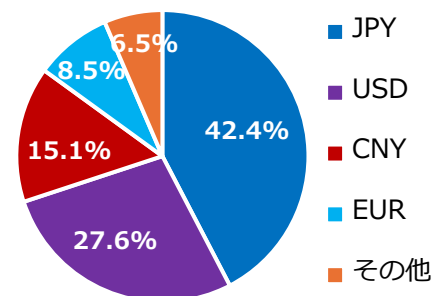


- 当上半期において日本円の契約は上限2人までのご利用人数の契約が大半であり、新規顧客平均単価は昨年通期比で減少した。ただし第2四半期においては無制限契約の獲得が寄与し、第1四半期との比較で増加した。
- 人民元、ユーロ建てでは単価の高い契約獲得が平均契約単価を押し上げ、昨年通期比で増加した。

【既存顧客の平均契約単価】

通貨	2025年Q4末 (a)	2026年Q1末	2026年Q2末 (b)	変化率 (b) / (a)
JPY	636,004	712,076	749,077	+17.8%
USD	5,339	5,466	5,566	+4.1%
CNY	37,082	37,528	38,242	+3.1%
EUR	5,274	5,432	5,477	+3.8%

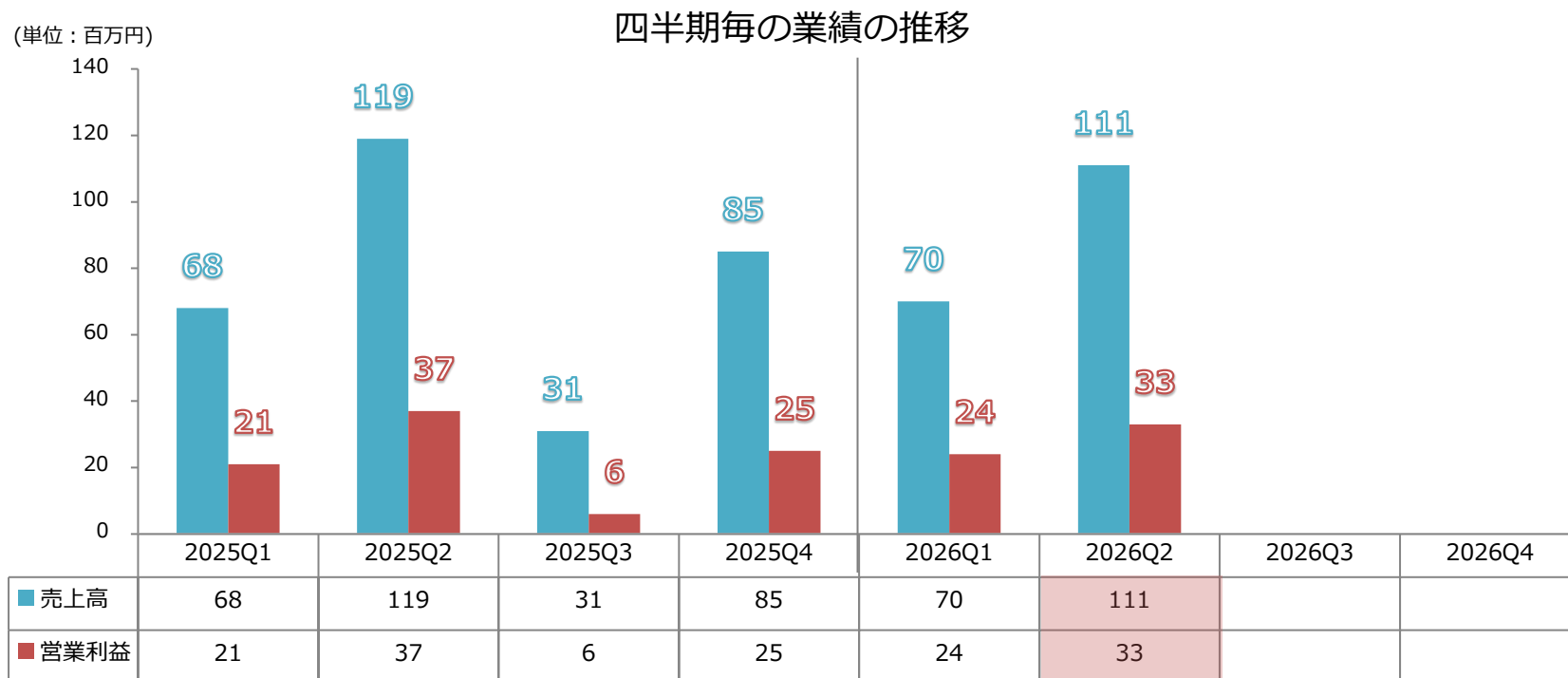
既存顧客契約件数割合



- いずれの通貨建てについても、2025年12月以降順次実行している既存契約の価格改定の効果が発現。加えて、限定的ながら昨年度より推進しているアップセルの効果も平均契約単価上昇に寄与。
- 特に日本円の契約については、価格改定対象契約の比率が高く平均契約単価は17%超上昇した。また、既存契約に占める日本円建て契約の割合は4割超となっており、売上高の増加に寄与している。

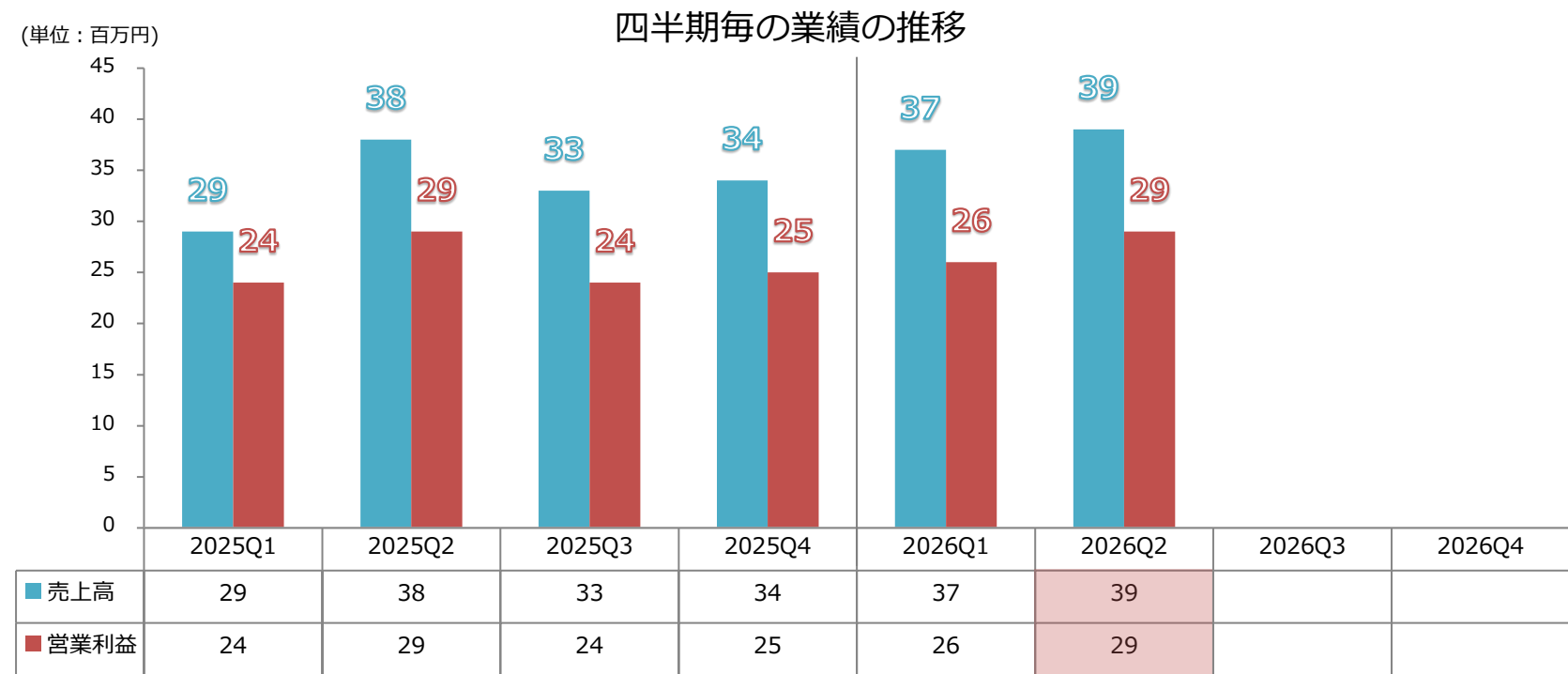
セグメント別損益（市場予測情報販売事業）

市場予測情報販売事業は、EV市場の減速、地政学リスク、原材料費高騰などへの対応といった複合的な要因による生産拠点の再編などの動きが出ており、予測情報に対するニーズも引き続き高い状態が続いており、売上高、セグメント利益ともに前年同期比でほぼ横ばいの結果となった。



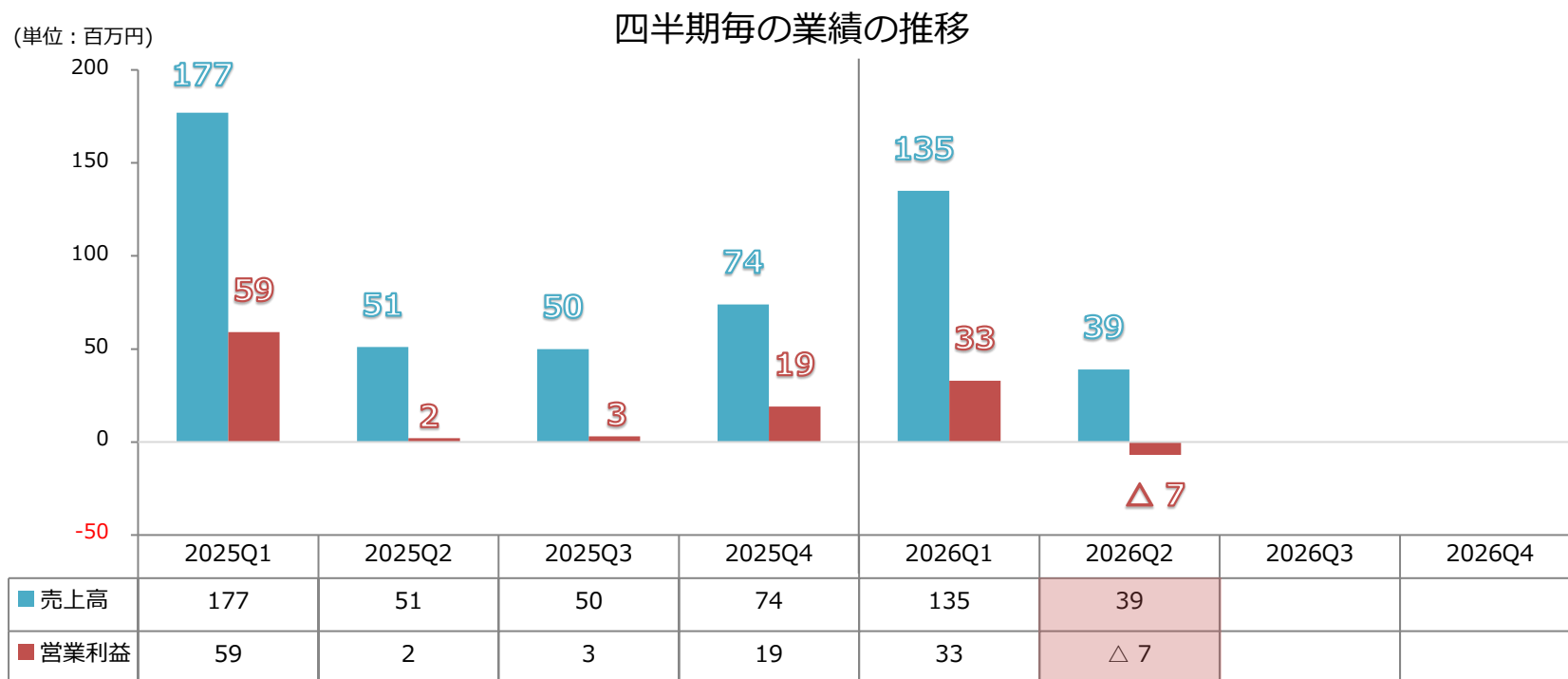
セグメント別損益（プロモーション広告事業 *LINES*）

プロモーション広告事業は、前期に実施した人員増強により顧客に対するフォローアップ体制が整いリピート受注が引き続き好調に推移したこと、及び1件当たりの受注額が上昇傾向にあることなどを受け売上高、セグメント利益ともに前年同期比で増加した。



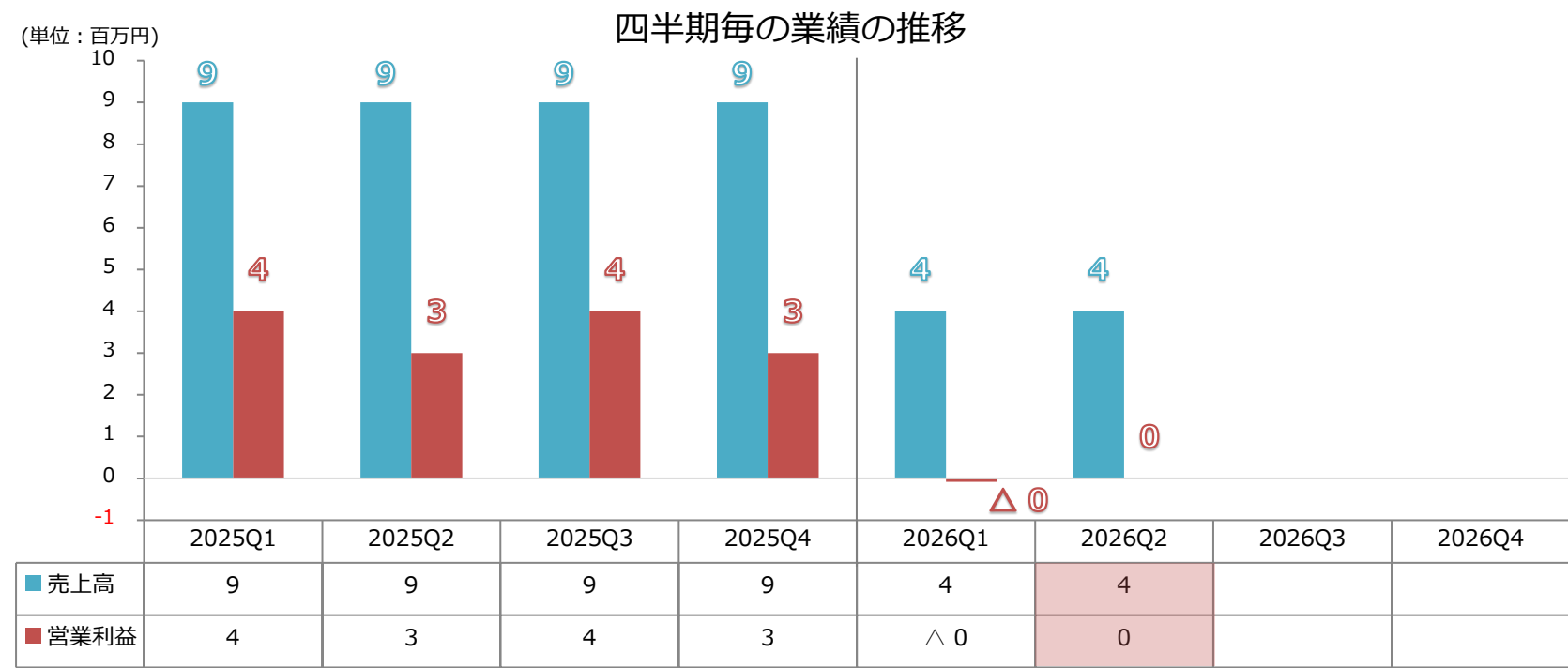
セグメント別損益（コンサルティング事業）

コンサルティング事業は、自動車メーカーによる電動化の戦略転換の影響を受け、コンサルティング、及び分解調査データ販売サービスともに自動車/大手部品メーカーからの引き合いが減少し、受注も低調に推移した。その結果、売上高、セグメント利益ともに大きく減少した。



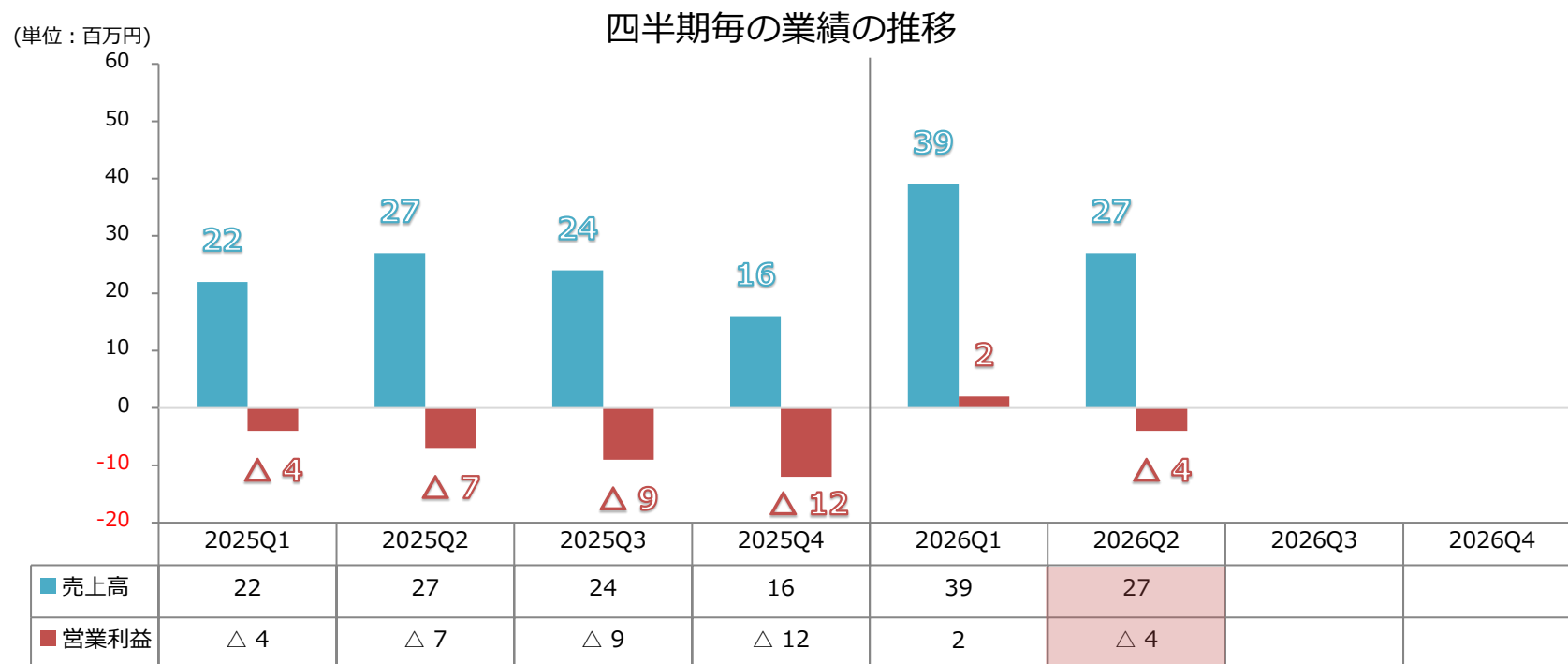
セグメント別損益（自動車ファンド事業）

自動車ファンド事業は、関連会社から受け取る管理報酬について、2026年度より組合契約に従い、ファンドの出資総額から前期末の投資残高を基準として算定した金額を売上高として計上する方式へ変更したため、前年同期比で減少した。また、セグメント損益については売上の減少を受けセグメント損失を計上した。



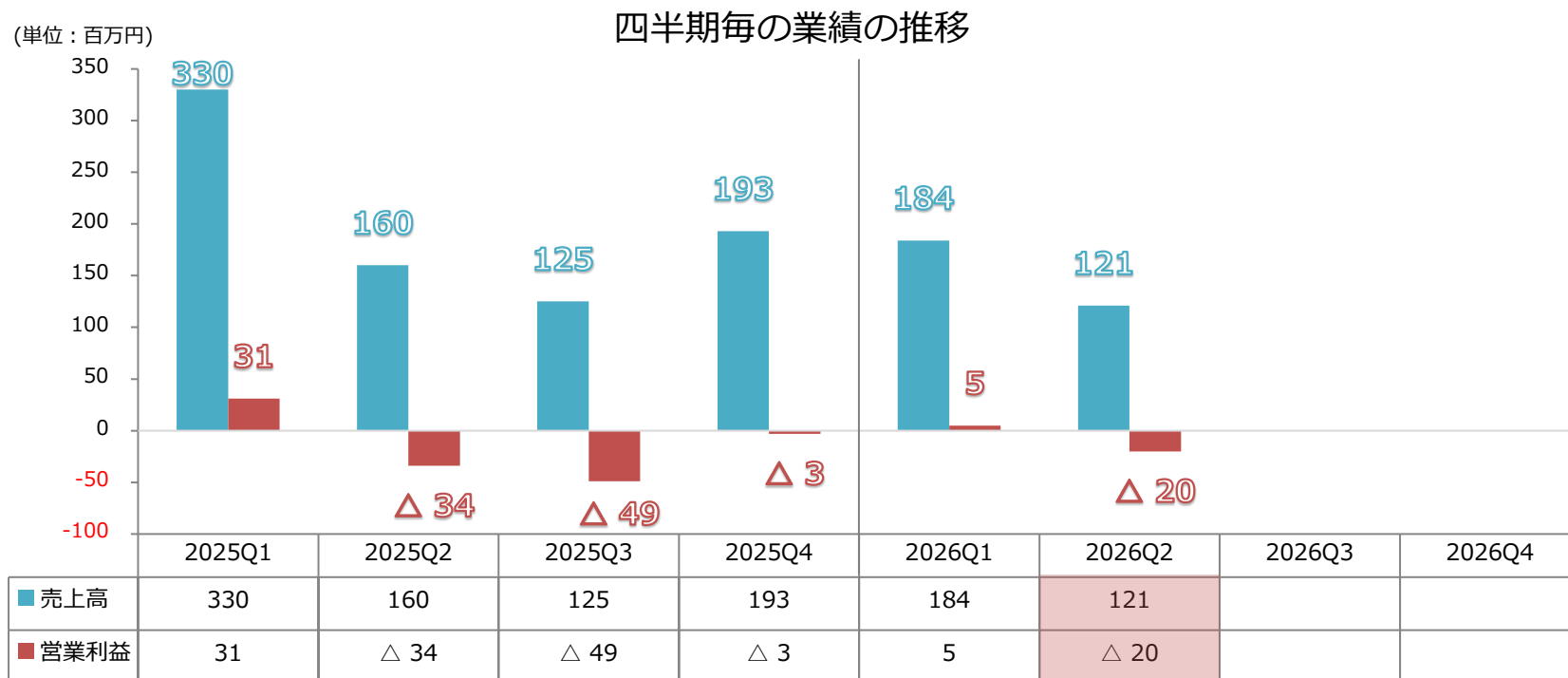
セグメント別損益（人材紹介事業）

人材紹介事業は、自動車メーカーの求人ニーズが回復傾向にあり、成約件数も26件(前年同期22件)と対前年同期で増加した。また、顧客と締結したりテナー契約が貢献するなど、売上高は前年同期比34.8%増加となった。これを受けセグメント損失は改善した。



セグメント別損益（リバースエンジニアリング事業）

リバースエンジニアリング事業は、自動車/大手部品メーカーからの受注件数が減少し売上高、セグメント利益ともに対前年同期で減少。ただし、第2四半期連結会計期間3か月間については、車両分解・計測サービスにおいて内製化率が高まったこと、及び車両・部品調達代行サービスにおいては高付加価値案件が増加したことにより粗利率が上昇し、セグメント損益は対前年同四半期で改善しており事業として立ち上がり軌道に乗りつつある。また、足下では、自動車/部品メーカーの動きが活性化しており分解、計測および実験などに係る商談が増加傾向にある。



III.業績予想

業績予想

(単位：百万円)

	2025年12月期実績	2026年12月期計画	前期比 (%)
連 結 売 上 高	5,570	6,150	+10.4%
連 結 営 業 利 益	2,095	2,350	+12.1%
連 結 経 常 利 益	2,146	2,380	+10.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,519	1,660	+9.2%

- 情報プラットフォーム事業の既存契約について前期12月から実施している価格改定の効果は、契約更新のタイミングに応じて順次売上高の増加に寄与しており、今後さらに寄与度が高まる見込み。
- ベンチマークセンターにおいて提供しているサービスについて、主要顧客である日系メーカーは事業年度替わりなどもあり活動が活発化してきている。足下の引き合いは前期との比較で増加傾向にあり、引き続き業績に寄与する見込み。
- 今期1月に「マークラインズ生成AI」のβ版をリリース。現在も、顧客からのフィードバックに基づく改善活動に注力。当該機能の改善が進むことで下期以降、新規契約増、退会減が業績に徐々に寄与することを想定。

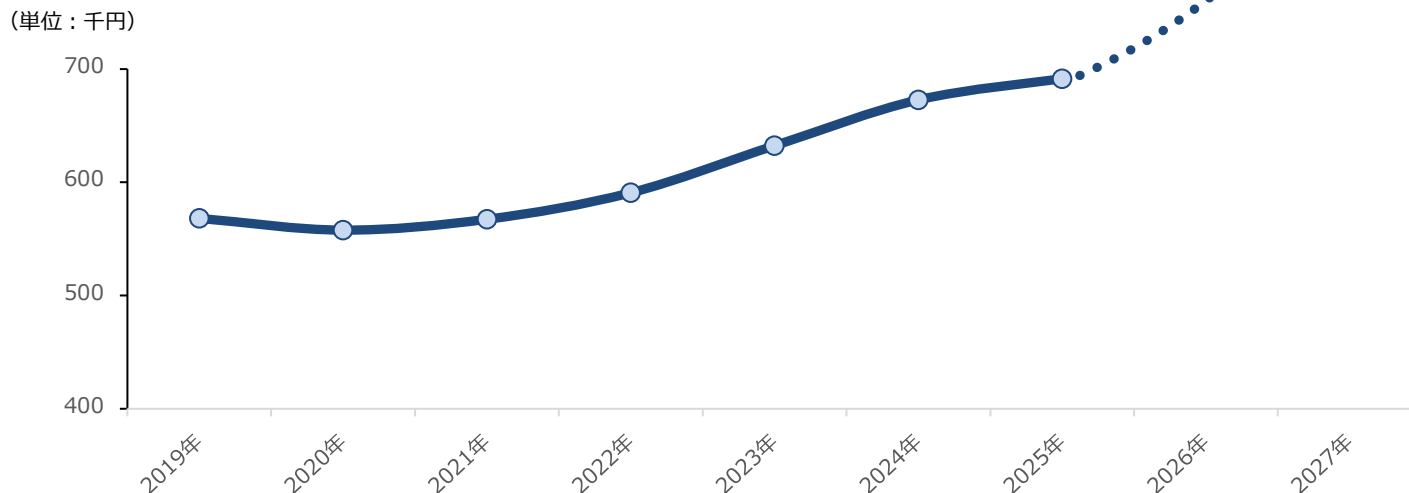
IV. 2026年2月発表の成長戦略に 対する取り組み状況

1. 情報プラットフォーム既存契約の価格改定

2025年末に更新を迎える契約から順次、価格改定を進めており、2026年末までに当該活動を完了する。

- 価格改定により既存契約の平均単価は2027年末にわたって毎月段階的に引き上がる見通し。2026年6月末現在、当初想定していた価格改定の総額のうちおよそ7割が実現し、2026年7月～10月契約更新分についても同水準が見込まれる。
- 今回の価格改定以降については、インフレや他社の動向を見極めながら価格改定の検討を引き続き進めていく。

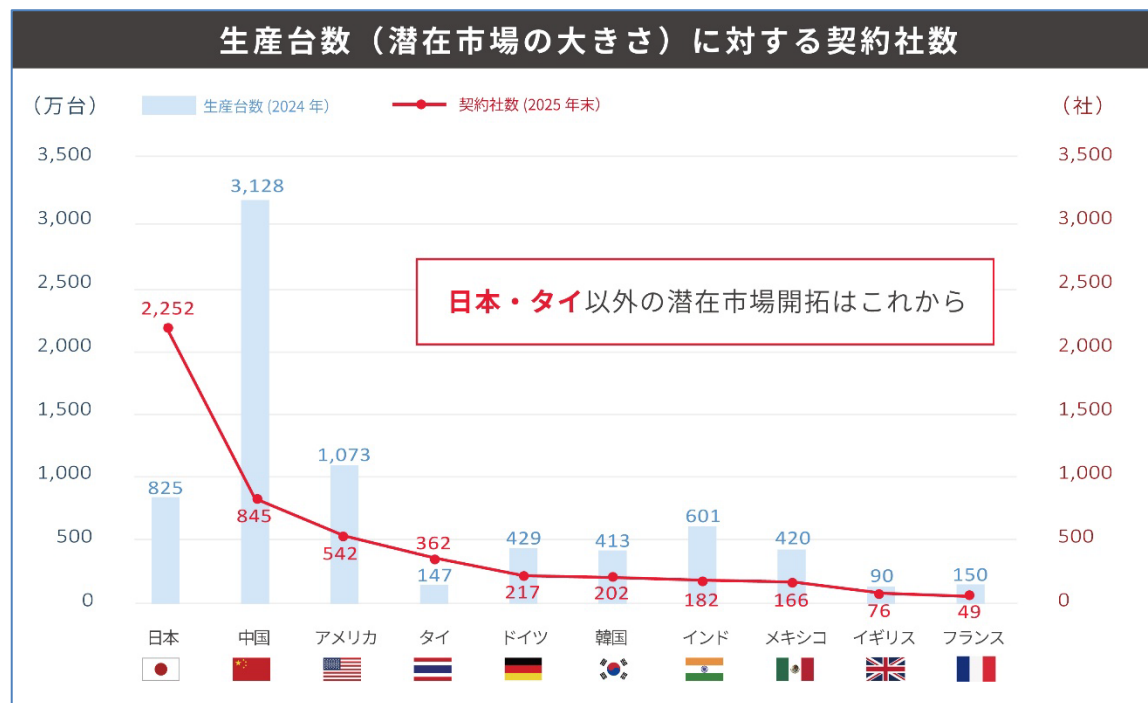
情報プラットフォーム既存顧客の平均契約単価（為替影響含む）



2. 米中欧印の新規契約獲得/アップセル促進

大きな潜在市場にもかかわらず未だ契約数の少ない中国・北米・欧州・インドの契約獲得/アップセルの推進を図る。

- 上期は大手企業向けに既存契約のアップセル施策を推進するも、その効果は限定的。下期も引き続き、アカウントアップなどの開発部門における利用者増を図るため一定期間のID無償提供を推進する。
- 「マークラインズ生成AI」のブラッシュアップや一次情報の強化を進めつつ認知活動を実施してきたが、今期中に計画する「マークラインズ生成AI Ver1.0」の正式リリースを契機に展示会出展などを通じた販促活動を推進し新規契約、アカウントアップ獲得を図る。
- 米国子会社及び上海子会社の各責任者を、それぞれ北米、中国地域の統括に任命し営業活動を推進中。両地域は市場の規模から高い開拓余地を残す重要市場であり、引き続き営業活動に注力し契約獲得を図る。



3. リバースエンジニアリング分野の強化

当社が提供している様々なサービスの認知度向上を図るため2025年度に各自動車メーカー向けに技術展示会を開催した。当該活動の成果を創出するため、ベンチマークセンターにおいて提携先の拡大および人員体制強化を図り、業績が好調なトヨタグループを中心に各メーカーからの受注を促進する。

- 電動化の進展に伴い好調なECUベンチマークは、サービスが高く評価され受注企業が拡大中。旺盛な需要に対応すべく更に増員を図る。
- 技術展示会やメール配信等が奏功し部品調達の受注が増加傾向へ転換。また、調達が困難だったバッテリーの調達についても受注を獲得。下期も業績の上積みに努める。
- 受託案件について、EV化、自動運転技術導入が進む乗用車に加えて商用車、二輪車及び車両以外の分野にも領域が拡大し、受注増を実現。下期はさらなる受注拡大を目指す。
- 自社で実車両を調達し分解計測する案件の第二弾として、日系メーカーの関心度が高い「BYD RACCO」を選定。足下では、多くの引き合いがあり、調査レポート及び部品の販売要望を確認し、今期中の納品を目指す。



部品名	仕様	数量	単位
抵抗	チップ抵抗	142	142
部品表			
部品名	仕様	数量	単位
C101	chip-cap	1508	47n
C102	chip-cap	1508	47n
C103	chip-cap	1508	47n
C104	chip-cap	1508	47n
C105	chip-cap	1508	47n
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1
IC	72000 VIO 4.50k 0.175k	1	1

4. 生成AIによるサービス価値の飛躍的向上

① マークラインズ 自動車情報×生成AIプラットフォーム

2026年1月に情報プラットフォーム法人会員向けの追加サービスとして、新機能である「マークラインズ生成AI β版」の提供を開始した。本機能は、当社が保有する自動車関連データから、利用者が自然言語で質問するだけで、必要かつ信頼性の高い「データ」を提示するとともに、当社サイト内の豊富な情報を活用して「分析」し、その結果を文章で生成するAI機能。



< 特徴 >

1. 検索結果では「データ」と「分析」を同時にご案内
2. 広範囲の自動車情報を横断的に検索
3. 質問と回答は60カ国以上の言語で可能

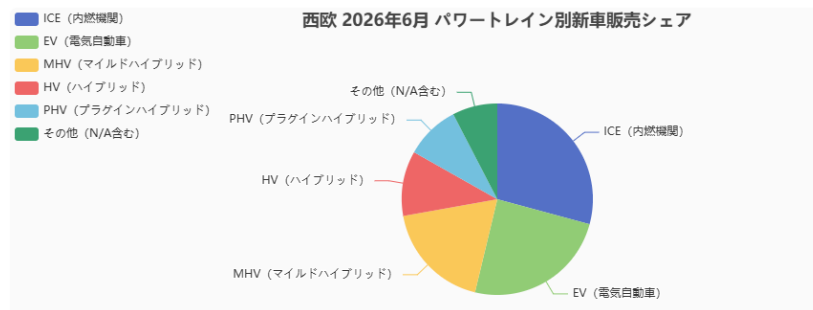
4. 生成AIによるサービス価値の飛躍的向上

② 開発動向

本機能は試験運用を目的とするβ版として提供を開始し、利用者のフィードバックから主に以下3点について取り組んでいる。引き続き機能改善を進め、年内の「マークラインズ生成AI Ver.1.0」のリリースを目指す。

● 精度向上

最新のLLM動向を継続的に把握し、適切なモデルを取り入れることで、回答・分析精度を向上。また、ユーザーから寄せられるフィードバックを収集・分析し、改善に反映。さらに、台数・シェアなどのデータを、棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフなどで可視化する機能を追加し、より直感的で分かりやすい情報提供を実現。



● 高速化

データ検索の内部処理を統合・最適化し、重複処理や待ち時間を削減。回答精度を維持しながら、質問に対してより迅速に回答を提供できる仕組みを構築。

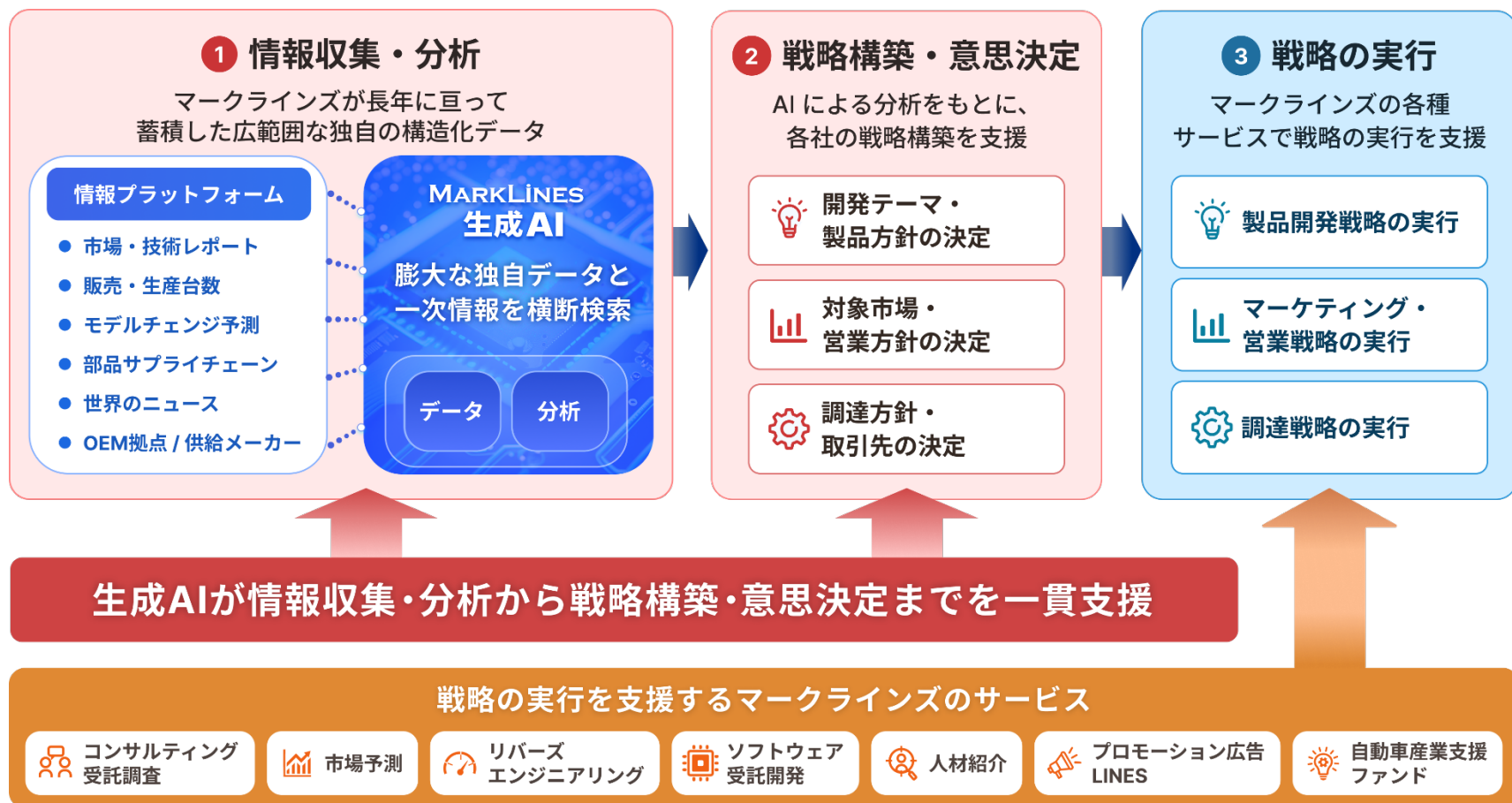
● 知見の拡充

自動車業界での暗黙知を取込み、回答に利用できる知見の幅と深さを強化。あわせて、過去の情報等の中で知見として活用可能な非構造化データのデータベース化を実施。

4. 生成AIによるサービス価値の飛躍的向上

③ 生成AIでマークラインズが目指すもの

「マークラインズ生成AI」については、広範囲な情報をカバーする汎用型AIサービスではなく自動車産業に特化した専門性が高い垂直型AI（Vertical AI）として開発を進めていく。今後、当該サービスを、企業的意思決定と実行を支援する業務インフラとして深化させる。



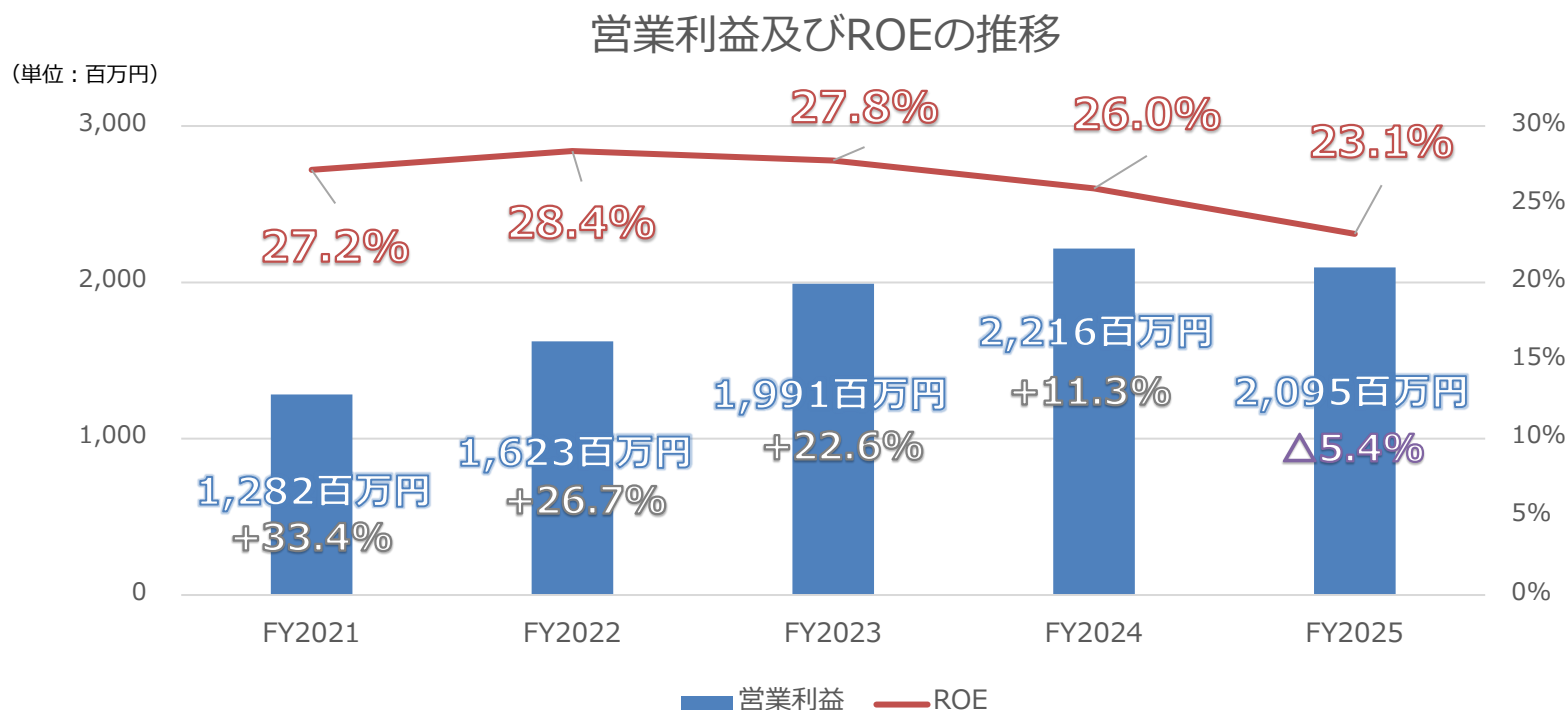
V. 中期の重要経営指標

中期の重要経営指標

【高成長と高い資本効率の両立】

① 前期比10%以上の利益成長

② ROE25%以上



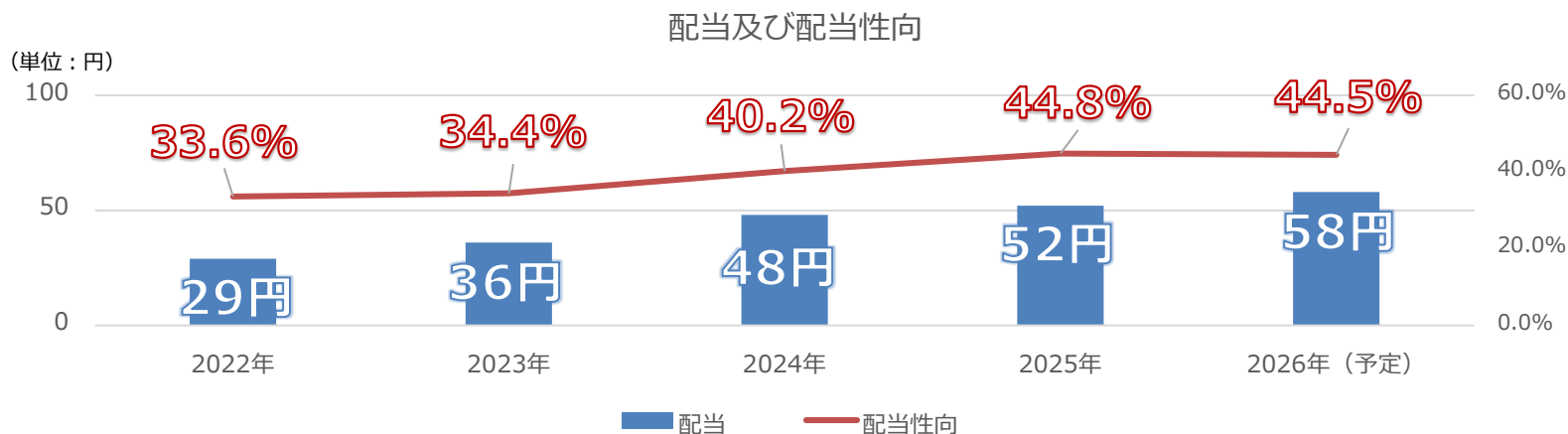
中期の重要経営指標

【株主還元】

① 配当

配当性向45%

(2026年12月期から連結配当性向を従来の40%から45%へ引き上げた。)



② 自己株式の取得

株価動向や財務状況を総合的に勘案し、株主還元及び資本効率の向上を目的として自己株式取得を機動的に実行

(2026年12月期については下記を決定した。)

株式を取得する総額 1,500,000千円 (上限)

取得する株式の総数 1,100,000株 (上限)

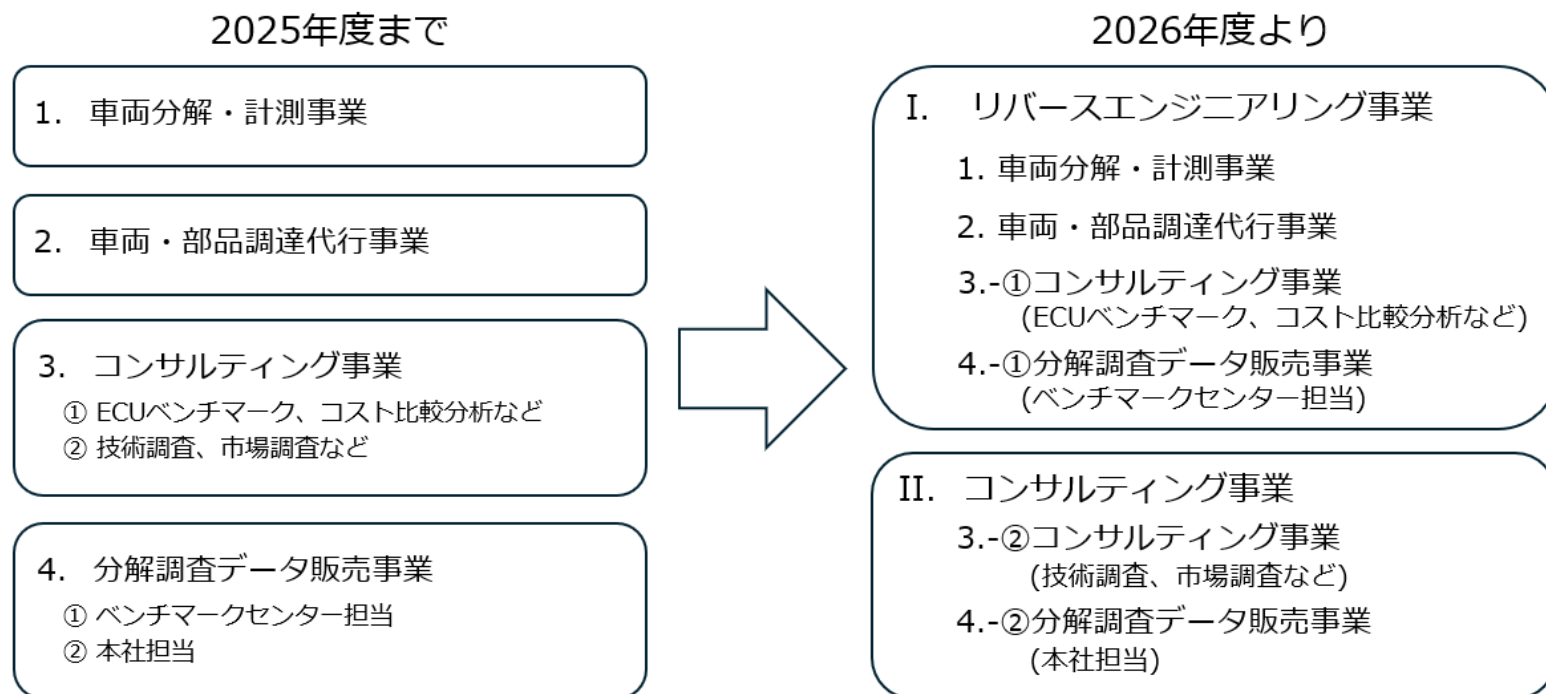
取得期間 2026年8月7日から2026年12月31日

VI. 参考情報

■ 事業部の再編について

第1四半期連結会計期間よりベンチマークセンター及び本社における採算性をこれまでより明確にする目的から、車両分解・計測事業、車両・部品調達代行事業、コンサルティング事業、及び分解調査データ販売事業の4事業をリバースエンジニアリング事業及びコンサルティング事業の2事業に再編しました。

【セグメント区分変更のイメージ】



■ 各事業部のセグメント利益又は損失 1/3

リバースエンジニアリング事業

(単位：千円)

	2025Q1	2025Q2	2025Q3	2025Q4	FY2025	2026Q1	2026Q2	2026Q3	2026Q4	FY2026
売上高	330,750	160,192	125,948	193,983	810,873	184,669	121,059			305,728
車両分解・計測 ※1	167,975	69,582	42,480	68,650	348,687	79,743	65,190			144,933
車両・部品調達代行	162,775	90,610	83,469	125,332	462,186	104,926	55,869			160,795
セグメント利益又は損失 (共通費配賦前)	71,831	4,489	-10,072	32,335	98,583	47,236	21,282			68,518
共通費配賦額	-40,146	-39,174	-39,310	-35,760	-154,390	-42,045	-41,636			-83,681
車両分解・計測 ※1	-31,022	-29,414	-26,986	-22,804	-110,226	-27,779	-27,806			-55,585
車両・部品調達代行	-9,124	-9,760	-12,324	-12,956	-44,164	-14,266	-13,830			-28,096
セグメント利益又は損失 (共通費配賦後)	31,685	-34,685	-49,382	-3,425	-55,807	5,191	-20,355			-15,164
車両分解・計測 ※1	9,036	-36,726	-47,988	-8,218	-83,897	-3,770	-15,466			-19,236
車両・部品調達代行	22,650	2,041	-1,393	4,793	28,090	8,962	-4,888			4,074

※1 車両分解・計測の売上高には2025年度までのセグメント区分であるコンサルティング事業及び分解調査データ販売事業の売上高が包含されています。

コンサルティング事業

(単位：千円)

	2025Q1	2025Q2	2025Q3	2025Q4	FY2025	2026Q1	2026Q2	2026Q3	2026Q4	FY2026
売上高	177,761	51,203	50,357	74,201	353,522	135,609	39,620			175,229
コンサルティング	107,913	30,214	33,915	74,200	246,243	87,250	29,346			116,596
分解調査データ販売	69,848	20,989	16,442	0	107,279	48,359	10,274			58,633
セグメント利益又は損失 (共通費配賦前)	72,322	13,998	12,889	29,150	128,359	46,861	2,731			49,592
共通費配賦額	-12,720	-11,641	-9,732	-10,045	-44,138	-13,083	-9,935			-23,018
コンサルティング	-11,024	-9,965	-8,216	-8,480	-37,685	-10,535	-7,819			-18,354
分解調査データ販売	-1,696	-1,676	-1,516	-1,565	-6,453	-2,548	-2,116			-4,664
セグメント利益又は損失 (共通費配賦後)	59,602	2,357	3,157	19,105	84,221	33,778	-7,204			26,574
コンサルティング	29,427	-2,376	1,375	23,113	51,540	19,541	-3,943			15,598
分解調査データ販売	30,176	4,733	1,781	-4,009	32,682	14,237	-3,261			10,976

■ 各事業部のセグメント利益又は損失 2/3

情報プラットフォーム事業

(単位：千円)

	2025Q1	2025Q2	2025Q3	2025Q4	FY2025	2026Q1	2026Q2	2026Q3	2026Q4	FY2026
売上高	948,626	935,780	956,951	993,525	3,834,884	991,964	1,050,879			2,042,843
セグメント利益又は損失 (共通費配賦前)	579,888	579,229	598,697	612,401	2,370,216	598,664	664,033			1,262,697
共通費配賦額	-127,897	-125,399	-112,136	-107,559	-472,992	-145,428	-120,725			-266,153
セグメント利益又は損失 (共通費配賦後)	451,990	453,830	486,561	504,841	1,897,223	453,236	543,308			996,544

プロモーション広告事業

(単位：千円)

	2025Q1	2025Q2	2025Q3	2025Q4	FY2025	2026Q1	2026Q2	2026Q3	2026Q4	FY2026
売上高	29,634	38,547	33,171	34,662	136,015	37,889	39,517			77,406
セグメント利益又は損失 (共通費配賦前)	27,126	33,352	27,989	29,442	117,911	31,425	34,064			65,489
共通費配賦額	-2,410	-4,191	-3,792	-3,913	-14,308	-5,097	-4,232			-9,329
セグメント利益又は損失 (共通費配賦後)	24,715	29,161	24,196	25,528	103,602	26,328	29,831			56,159

市場予測情報販売事業

(単位：千円)

	2025Q1	2025Q2	2025Q3	2025Q4	FY2025	2026Q1	2026Q2	2026Q3	2026Q4	FY2026
売上高	68,356	119,302	31,558	85,339	304,556	70,307	111,117			181,424
セグメント利益又は損失 (共通費配賦前)	24,658	40,665	8,609	28,196	102,130	26,190	36,098			62,288
共通費配賦額	-2,826	-2,794	-2,528	-2,609	-10,758	-1,699	-2,821	0	0	-4,520
セグメント利益又は損失 (共通費配賦後)	21,832	37,871	6,080	25,587	91,371	24,491	33,277			57,768

■ 各事業部のセグメント利益又は損失 3/3

人材紹介事業

(単位：千円)

	2025Q1	2025Q2	2025Q3	2025Q4	FY2025	2026Q1	2026Q2	2026Q3	2026Q4	FY2026
売上高	22,473	27,481	24,722	16,639	91,317	39,898	27,464			67,362
セグメント利益又は損失 (共通費配賦前)	4,562	3,792	924	-2,905	6,374	14,428	5,846			20,274
共通費配賦額	-8,988	-11,177	-10,113	-9,931	-40,209	-11,894	-9,876			-21,770
セグメント利益又は損失 (共通費配賦後)	-4,425	-7,385	-9,188	-12,836	-33,835	2,534	-4,029			-1,495

自動車ファンド事業

(単位：千円)

	2025Q1	2025Q2	2025Q3	2025Q4	FY2025	2026Q1	2026Q2	2026Q3	2026Q4	FY2026
売上高	9,665	9,773	9,881	9,881	39,200	4,511	4,561			9,072
セグメント利益又は損失 (共通費配賦前)	4,884	3,984	4,982	3,905	17,755	-807	624			-183
共通費配賦額	0	0	0	0	0	0	0			0
セグメント利益又は損失 (共通費配賦後)	4,884	3,984	4,982	3,905	17,755	-807	624			-183

その他

(単位：千円)

	2025Q1	2025Q2	2025Q3	2025Q4	FY2025	2026Q1	2026Q2	2026Q3	2026Q4	FY2026
売上高	-	0	0	0	0	4,912	0			4,912
セグメント利益又は損失 (共通費配賦前)	-	-3,463	-2,067	-3,429	-8,959	-1,372	-3,536			-4,908
共通費配賦額	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0
セグメント利益又は損失 (共通費配賦後)	-	-3,463	-2,067	-3,429	-8,959	-1,372	-3,536			-4,908